

「己が能を思量せよ」

田中 智教

先日、24時間テレビが放送されているのを目にした時に、とある師の言葉が頭を過りました。

「愛は地球を救う」だとか、「地球にやさしく」とか言っておるけれども、愛なんかで地球は救えん。地球がやさしいから私たちが生きていられるのだ」と。この言葉を聞いた時に、その番組内でしきりに言われる「愛は地球を救う」というスローガンを是としていた自分が翻ったのです。

じよくせ どうぞく よ みづか おのれ のう しりょう
濁世の道俗、善く自ら己が能を思量せよとなり。知るべし。

(『真宗聖典』331頁)

これは、親鸞聖人がご執筆になられた『教行信証』の「化身土巻」に出てくる一文であります。この「化身土巻」とは、仮の浄土について書かれているもので、私たちが生きる現実の中にどのような^け仮(嘘)や^ぎ偽(偽り)があるのかを窺うことができます。

それで、この言葉は、そのような嘘偽りが蔓延り、本当のことが見えにくい濁った世の中で生きる、仏道を歩む人もそうでない人も、自分自身のことをよく考え、よく知りなさいと。つまり、濁った世の中で本当のことを見る目もない愚かな私たちであるということをよく考えて、よく知りなさいと親鸞聖人は仰るのでしょう。

ですから、そのためには本当のこと、真実のことを学ばなければならない。真実がわからなければ、嘘偽りもわからない。その真実のこととは、真実の教えとして、親鸞聖人が言葉を尽くして教えてくださっていることなのです。

今を生きる私たちが愚かであることをよく考え、よく知り、そして真実の教えを学び、現代社会を一步一步あゆんでいきたいと思えます。